



# 國際情報

新潟国際情報大学広報 第25号

(本校) 〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 tel 025-239-3111 fax 025-239-3690 E-mail somu@nus.ac.jp URL <http://www.nus.ac.jp/>  
(新潟中央キャンパス) 〒951-8068 新潟市上大川前通七番町1169番 tel 025-227-7111 fax 025-227-7117

には大変不幸な年であります。  
両災害では亡くなられた方も少なくなく、地区の全員が永年住みなれた土地を離れ、他の土地に家を造らねばならぬ方々もおり、何とも申し上げる言葉がありません。私共の大学の学生やその家族の方々、同窓生、卒業生が勤務させていただいている企業や機関、平素ご支援いただいている企業や機関でも災害に遭われた方々が少なくありません。一同を代表しましてお見舞い申



地震は「紅翔祭」も直撃し記念講演が中止となった。そんな中で学友会は早速、義援金募集に取り組んだ



大災害の状況は海外メディアでも伝えられ、提携校から次々と地震お見舞いの書状が寄せられた

## CONTENTS

2・3面

# 派遣留学の学生体験報告 成果と意義・国際交流委員長 スポーツ活動の記録 卒論中間発表会(情報文化室)

4・5面

- 学外実習・インターンシップ体験報告
- キャリアサポート・就職指導委員長
- 企業懇談会報告
- 就職内定者の声
- ビジネスメッセ報告

6・7面

教員の活動報告  
海外研修記・アラスカ、北朝鮮訪問記  
米国特許取得、博士号取得  
定年退職2教授の最終講義案内  
04年下半年の教員活動一覧

8面

卒業生の便り 紅翔祭を終えて  
ウラジオストク極東大学副学長が来校  
北京の2大学で本学教員が特別講演  
学事日程 平成17年度入試日程  
湧源・編集後記に代えて

より効果的な教育を

し上げます。



希望を抱き新しい年へ

**災害お見舞い申し上げます**  
明けましておめでとうございます。  
昨年は、避け得ない天災とはいながら  
新潟県、とくに水に襲われた県

今年は、地方に交付される義務教育費国庫負担分の減額、これまで極めて限定されていた混合診療の大幅な拡大（同時に国民医療費国庫負担分の減額が予想される）、定率減税廃止への歩みなど、それなりの理由はあるのですが、一部の人にとっては幸いで、多くの人にとっては幸いでないようになります。必ずしも明るい年ではありませんが、お互いに頑張りましょう。

19年春の大学入学に関しては、全国の大学の新入学生数と大学受験者数（受験希望の高校新卒者数と浪人者数を合わせたもの）がほぼ同数になると予想されています。しかし希望の大学に入れなければ浪人する人も少なくありませんから、講義室の席がガラガラ空いてしまう大学も出てくるのでしょうか。大変なことです。本学は、これまでと変わらずに多数の高校生や社会人の人たちが受験し、入学する大学であり続けるよう努力しなければと思っています。

今年も、関係者皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 地球がキャンパス



渡邊 拓郎

留学当初は、慣れない環境に戸惑いを感じることもあったが、今はウラジオストクの雰囲気を心地よく感じことが多い。留

留学イメージを持つていたが、生活してみると不満などはあまり感じない。

ロシア語学校の授業はとても

おもしろく、勉強することに楽しさを感じている。

他国の人たちとの会話、買い物など、必然的にロシア語を毎日感じられる環境に感謝したい。この2カ月は、とても充実した日々を送ることが出来たと思っている。

しかし、まだロシア語のレベルは満足いくものではなく、ロシアについてまだまだ知らないことが多い。残りの時間を使い、留学を自分にとって意義のあるものにしたい。

## 心地良い雰囲気の中で



酒井 亜矢子

情報文化学科2年

私はとつてアメリカでの5週間は短すぎるものでした。しかし得

たものは大きく自分の英語力の自信にもつながりました。授業

ぶと同時に、英語の理解力の確認にもな

## 積極的に話して伝えた

りました。

授業では自分の意見を言うときがたくさんあり、積極的に話す、伝えたいと思う事が大事だ

と思いました。それでの授業

で行われた劇やプレゼンテーションは、事前準備の期間も短く、課題も多いため寝る時間を削

つて良い発表になるよう頑張りました。土日の休みは、旅行にも行きいろんな物を見てそのた

1回映画を鑑賞し、アメリカの文化を学んだ。しかし得

たものは大きくなり、失敗はするけれど、留学メンバー全員が支えになり、皆で頑張って、つらい中にも喜びがたくさんありました。また、いろいろな国の人たちとの出会いがたくさんありました。この留学を無駄にしないようにこれからも頑張っていきたいと思います。来年留学に行く皆さん、常にポジティブにこつこつと努力を積み重ねて頑張ってください。

授業では自分の意見を言うときには落ち込んだり、失敗はしました。しかし得たものは大きくなり、失敗はするけれど、留学メンバー全員が支えになり、皆で頑張って、つらい中にも喜びがたくさんありました。また、いろいろな国の人たちとの出会いがたくさんありました。この留学を無駄にしないようにこれからも頑張っていきたいと思います。来年留学に行く皆さん、常にポジティブにこつこつと努力を積み重ねて頑張ってください。

## 04年度情報文化学科卒論中間発表会

### 3年生の聴衆増える

情報文化学科3年 山口 季音

11月13日、04年度の情報文化学科卒業論文中間発表会が行われました。今回は111名の4年生が、大学生活の締めくくりとなる卒業論文の構想を学生や先生方の前で発表しました。前年と比べて聴衆に4年生以外の学生が増え、特に來たる年に備える3年生の姿が多く見られました。

論文はまだ作成段階ということもあり、納得できる発表ができた学生は少ないかもしれませんが、個性的で関心を引くものばかりでした。

また、発表者も教員・学生の質問や意見に熱心に耳を傾け、よりよいものを書こうという意欲がよく伝わってきました。

卒業論文完成の大詰めを迎える直前の時期に開かれるこの中間発表会が、4年生にとって素晴らしい論文を書くための刺激となり、3年生の意識を卒業論文に向けるいい機会になつたのではないかと思います。

## 東日本大会で選手宣誓



11月13から栃木県日光市で開催された第25回東日本大学軟式野球選手権大会に出場しました。同大会で我が校は選手宣誓の代表校に選ばれ、個人的にとても緊張しました。結果は1回戦で東関東代表の帝京大学

に1対9で大敗してしまいました。しかしこの大会に出席するに当たって我々は、新潟県内の予選リーグで一位になり、春に開催された全日本大会の出場権を県内リーグ二位で惜しくも逃した雪辱を晴らすことができました。

また留学をして、さまざま人と出会いました。下宿や寄宿舎の人たち、クラスメイト、ト

ウミ(チユーティー)をしてくれている学生、先生方などなど。

いろいろなことを教えてもらつた気がします。

日本にいるだけでは分からな

いことを、韓国で学び、体験し

ました。これから帰国するまで

の1カ月半も、悔いのないよう

ないように過ごしたい

と思っています。

日本にいるだけでは分からな

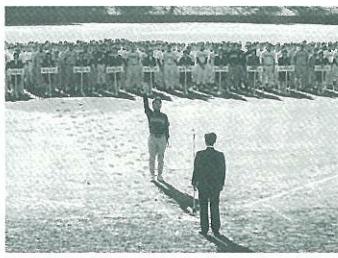
いことを、韓国で学び、体験し

ました。これから帰国するまで

の1カ月半も、悔いのないよう

ないように過ごしたい

と思っています。



## 学外実習・インターンシップ



多くの企業の協力で貴重な体験をすることができた。  
上は新潟東映ホテル。下はタカヨシ

## 挨拶の重要さを教わった

た。そこでは「仕事はできなくとも挨拶（あいさつ）だけはしっかりとするように」と指導され、会社では挨拶が大変重要で

和以前から興味のある力で

新潟東映ホテル

本学では来年度から2、3年生を対象に新規科目「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ」を導入し、これを就業体験プログラムと連動させます。就業体験システム学科の専門科目「学外報

就職指導委員長

大竹  
康夫

就職指導委員長  
システム学科教授 大竹 康夫

たものです。

「インターンシップ」の目的は、

模擬面接が11月29・30日に予定されている

## やりたい仕事を再認識

この実習を通して、やりたい仕事が自分に合うのか再確認でき、さらに会社の一員として働くことの楽しさを知ることができた。

私がインターンシップに参加したのは、興味のある仕事が実際に体験できる良い機会だと思ったからだ。

イワツキ(株)

## 内定者から一言

県外にも目を向けて

情報システム学科4年  
三輪 彰子

(株)アカデミー

いろいろな企業を回って知識をつけることは、今後の人生で生かせるものだと思います。最初からやりたいことが見つからない人も多いと思います。だからといって活動しないのではなく、いろいろなところへ積極的に参加して、とにかく動いてやりたいことを見つけるような就職活動でもいいんじゃないかと思います。

## 何をやりたいか模索

情報文化学科4年 古川裕介

私は、最初から県外就職希望だったので、新潟で行われる合同説明会だけでなく、東京・池袋の合同説明会にも参加しました。本学の学生はほとんどが県内就職希望だと想いますが、県外企業は県内より断然企業数が多いですし、その分やりたい仕事を選ぶチャンスが増えます。

今はまず、自分がこれからどんな仕事をしていきたいのか自己分析を重ね、やりたい仕事が見つかったら、県内だけでなく県外にも目を向けてみてはいかがですか。

情報文化学科3年

加藤 大貴

今回の実習先にキューピットを選んだ理由は、流通業界という職業上、多くの人と触れ合うことで、社会での経験や基本マナーなど、多くのことを学べると思ってのことだった。

実習のスケジュールは2週間。私はグローサリーという日配部門にお世話になった。そこで流連のこと学びながら、青果などの各部門でも業務を体験させていただき、スーパーマーケットの本質を勉強することができた。

また、店長や社員・パートの方々にいろいろとフォローやアドバイスをいただき、時にはお客様に指摘されて気づくことなど、本当に多くのことを体験することができた。

## 地域に学ぶ 流通部門で本質に触れる

### 受け入れ企業名リスト (順不動)

- 博進堂
- 新潟フジカラー
- 富士通フロンティック (工場)
- 新潟日報社
- エフエムラジオ新潟
- 新潟放送 (報道制作)
- BSNアイネット
- サイバーコム
- 富士通新潟システムズ
- 新潟インターネットサービス
- ビット・エイ
- 味の素システムテクノ
- リアルビズ
- 新潟東映ホテル
- ホテル新潟
- セコム上信越
- 新潟商工会議所
- 日本海区水産研究所
- 新潟県庁
- 新潟市立沼垂図書館
- 亀田町総合体育館
- 第四銀行
- 北越銀行
- 原信
- 新潟日産自動車
- 日産プリンス新潟販売
- 新潟県農協電算センター
- 北都
- 長岡グランドホテル
- 新潟県経営者協会
- イワツキ
- キューピット
- 新潟ゼロックス
- 第一印刷所
- タカヨシ

この実習で得たものは、一人ひとりに課せられる責任の大切さと、何よりお客様への誠意の気持ちだ。「お客様の立場に立つて接する」ということを学び、そうした時に、お客様から「ありがとう」と言われた時、とてももうれしかったことを今でも覚えている。

これからは、実習で学んだこと、経験したこと将来自分がどのようにがんばっていきたいと思う。

初日から難しい作業が続き、普段パソコンを使っているからといって、うまくいかないことが多い方が多いと感じた。だから、

つとやりたいと思うくらい働くことの楽しさ、喜びを、身をもつて実感できたい体験だったと思っている。

情報管理課に配属されて、ネットワーク管理の仕事を手伝った。

情報システム学科3年

桜中 恵実

だことに助けられて仕事をやり遂げた時は、味わったことのない満足感だった。

2週間を終えるころには、も

## ネットワーク管理を手伝う

日々勉強。

職場の方の親切と授業で学んだことに助けられて仕事をやり遂げた時は、味わったことのない満足感だった。

情報システム学科4年 横山 悠

本学を代表して、今年も宗澤研究室はこの11月11・12日に新潟市産業振興センターで開催されたビジネスメッセ2004に出展しました。

出展ブースでは、地場産業活性化に向けて構築したシステムの実演や、研究内容の資料や大学案内の資料配布など積極的に行いました。その結果、説明しているうちに関心を寄せてくれたことや、企業の方々と情報交換ができ、今後の参考になりました。

さらに、他大学との交流や大学受験を考えられている保護者の方まで足を運んでいただき、研究だけでなく大学自体もアピールできました。今回の参加により、普段の学生生活では得られない貴重な体験をしました。そして、今後もこうした参加を継続し、産学連携を深めていけたらと思います。



## 地域に学ぶ

04年の企業懇談会は11月17日(水)、ホテル新潟において開催された。10月23日の中越地震の影響にもかかわらず県内外から170社(230人)余りの企業の代表者や人事担当者に参加いただきました。

岡政夫学部長による学校説明会、

大竹康夫就職指導委員長による「就職指導の方針」が紹介されました。

引き続き、特別講演として国際政治学者 浅井信雄氏(長岡市出身)

### 県内外から170社参加 浅井信雄氏が特別講演

人事担当者を招き、本学を理解いただくとともに、各種ご支援に対する「感謝の会」として毎年秋に開催しています。当日は第一部と第二部は会場を移し小澤辰男理事長から参加者に謝辞が述べられました。新菱冷熱工業副社長加藤允

信様の乾杯ご発声で参加者と本学の教職員による懇親会が始まりました。

本学の教職員は、名刺を片手にして企業の各テーブルを回り、学生や大学のPRに奮闘して汗を流しました。

教職員による懇親



## ビジネスメッセ 2004

地場産業活性化に向けて情報交換もできた

## 北朝鮮を訪問

人々の生活に直接触れたことであ  
り、育児園、幼稚園、協同農場、  
史跡地などを訪れた。初めての北  
朝鮮訪問であるため、日程は過密  
だったが、心地良い興奮の中で時  
間は過ぎ去った。



ピョンヤン市の凱旋門前で

## 心地良い興奮を覚える

情報文化学科 教授 広瀬 貞三

昨年7月27日から8月11日までの16日間、「新潟NGO食糧支援フィールドワーク」の一員として北朝鮮を訪問した。本学の佐々木寛さんも一緒だった。訪問地域は平壌、板門店、元山、金剛山であ

る。一般市民との交流はできなかつたが、案内員3名や訪問先の案内員と親しく接した。「怖い国」との先入観は、政治権力と市民を混同することから生じる。会話や酒席を通して、血の通った人間が北朝鮮の山河や、市民が懸命に働く姿も目撃した。

訪朝の最大の成果は、北朝鮮の人々の生活に直接触れたことであ  
り、育児園、幼稚園、協同農場、  
史跡地などを訪れた。初めての北  
朝鮮訪問であるため、日程は過密  
だったが、心地良い興奮の中での時  
間は過ぎ去った。

## 米国特許を取得



この特許は、通信用光集積回路の絶縁体に関するものです。計算機のCPUやメモリはシリコン

• United State Patent: Semiconductor optical devices and the fabrication method (半導体光デバイスとその製造方法) S. Kondo et al. Patent No.: US 6,717,187 B2. Date of Patent: Apr.6, 2004.

• United State Patent: Semi-insulating substrate, Semiconductor optical device and fabrication method of semiconductor thin film (半絶縁性基板、半導体光デバイスと半導体薄膜の製造方法) R. Iga et al. Patent No.: US 6,692,837 B2. Date of Patent: Feb.17, 2004.

情報システム学科 教授 近藤 進

を使った集積回路です。集積回路では、それぞれの素子を絶縁体(電気を通さない物質)で囲む必要があります。レーザ・受光素子・光変調器といった光通信素子は、

## 博士号を取得



昨年3月に京都

情報システム学科 教授 岸野 清孝

大学より博士号を授与されました。(学位論文「ITSの活用によるトラック輸送の高度化」)

具体的にはGPS、車載端末、無線通信、遺伝的アルゴリズムなどの技術を活用し、以下の情報化に関する研究を行いました。

① トラック位置管理と日報作成システムを開発し、最適な走行ルート取得周期(60秒)と通信費用

配送効率低下、環境対策、事故対策が重要課題であるトラック輸送に対し、コスト低減、省燃費による環境負荷低減を目標とした高

藤瀬武彦 (情報システム学科・教授)

- 講演「健康づくりのための筋力トレーニング(初心者向けⅠ)」平成16年度第4回健康運動指導士・健康運動実践指導者登録更新講習会、新潟県健康づくりセンター、8月3日。
- 講演「健康づくりと運動プログラム」および「補強運動の理論と実践」平成16年度健康運動実践指導者養成講習会、新潟県健康づくりセンター、10月13日。
- 講演「健康づくりのための筋力トレーニング(初心者向けⅡ)」平成16年度第7回健康運動指導士・健康運動実践指導者登録更新講習会、新潟県健康づくりセンター、12月12日。
- シンポ「大学生の体力とフィットネス教育について」新潟県体育学会平成16年度大会(シンポジウム「新潟の子どもの体力低下と学校体育」)、新潟大学農学部、10月23日。

武藤輝一 (学長)

- 講演「業務遂行と健康管理:生活習慣病」国土交通行政研修会(国土交通省北陸整備局)、北陸技術事務所(北陸研修所越路館)、7月20日。

## 通信用光集積回路の絶縁体

おもにインジウム燐という結晶上でつくられています。この物質に鉄をわずかに加えると絶縁体になりました。これで、鉄をわざわざ加えると絶縁化が可能になります。しかし、鉄

インジウムアルミニウム砒素、インジウムガリウム砒素燐といった半導体光素子用材料の絶縁化も可能で、より複雑で高機能な光集積素子実現の可能性を秘めています。

・シンポ「消化器外科におけるRCT(Randomized Controlled Trial)」第59回日本消化器外科学会定期学術集会(緊急企画シンポジウム「本邦発信の消化器外科のホット・エビデンス」での特別発言)、鹿児島市立文化センター、7月23日。

・講演「在宅静脈経腸栄養の研究と臨床:今日までの経緯とこれから」第1回在宅静脈経腸栄養研究会(特別講演)、新潟市民芸術文化会館、9月25日。

・講演「消化管の発生からその機能と疾患を考える」新潟県臨床栄養研究会、新潟ユニゾンプラザ、10月25日。

・シンポ「医師の心構え」第42回日本癌治療学会総会(特別企画シンポジウム「医学の歴史に学ぶ」での特別発言)、国立京都国際会館、10月28日。

矢口裕子 (情報文化学科・助教授)

- 講演「雅子妃問題から考える日本のジェンダー」(にいがた女性大学・第1期)新潟市女性センター、8月10日。

# 最終講義

定年退職2教授  
2月5日(土)  
本校140教室にて

原口武彦情報文化学科教授  
宗澤拓郎情報システム学科教授  
午後1時～2時「私の70年」

## 海外研修を終えて

ブルックス山脈の北麓。アラスカの最北にある(4月中旬)



るものいる。ヘリの爆音に驚いたのかその群れは急な崖をいつせいに走り出した。

4月中旬のノーススロープ。私

のアラスカ調査はここから始まつた。ノーススロープとは、アラスカ半島最北部に広漠と広がる永久凍土の原野のことである。冬は雪と氷そして極夜に閉ざされ、夏は大半が湿地帯となり容易に人を近づけない。もちろん道などない。

私が約半年間研修を行なつたアラスカ州立大学フェアバンクス校

の水文・環境研究センターは、アラスカの水文環境研究の拠点として多くの成果をあげてきており、

いくつものNSF(National Science Foundation)支援プロジェクトを抱えている。私はそうしたプロジェクトのひとつである「Temporal Variation of Hydrology in the Alaskan Arctic」の研究協力者として、ブルックス山脈北麓における第4紀後期の氷河変動を氷河地形から復元するという課題に携わった。調査地域へのアクセスは、陸路では不可能なためヘリコプターを使用することになったのだが、

車で氷河を越えるのが、アラスカ半島北部のブルックス山脈からノーススロープにかけての広大な地域を期せずして空から広く見てまわることができた。カリブーとの出合いはその最初のフライトの時だった。

ところであらかじめ、マッキンリーやアラスカ山脈の山々

に代表されるような氷河をまとつ

眼下に広がるのは、どこまでも

統く白と淡い水色だけの世界。生

命の気配などどこにも感じられな

い。ヘリコプターは次第にブル

クス山脈の山際に近づいてきた。

キラキラ光る雪面からの反射がま

ぶしい。思わず目を細めた。細く

点々と続く無数のトレースが光線

の間に広がるのは、どこまでも

かし全体としては斜め上方に向かって続いているのが分かる。ヘリ

の窓からのぞきこむように斜面上

方に目をやると、トレースの先に見えたのは何百頭ものカリブーの群だつた。小さな子供を連れてい

## アラスカ 地形学のラストフロンティア

情報文化学科・助教授 澤口晋一

た豪快な山岳景観を思い浮かべる人が多いであろう。私もそれがアラスカだと思っていた。ところが、私が滞在したフェアバンクスからユーロン川を挟んでブルックス山脈に至る中部地域は、準平原とよばれる山頂高度のそろつた、单调でのつべりとした地形がどこまでも延々と続くところだったのである。さらにブルックス山脈を越えればそこから先は平坦なツンドラが終わりなく続くノーススロープとなる。この広漠たる大地。どう表現すべきか… 実はこれこそがアラスカだったのだ。

私が専門とする地形学は一定の根拠に基づいて地形種を区分し、それぞれの地形の成因を調べつつ全體の地形発達史を解明することを目的的一つとしている。つまり地形学では、地形区分という手法が方法論上の大きな特質となつてゐるのである。ところが、アラスカの大地の中には地形学の基本であるこの地形区分が、あまりの広漠さ故か、成り立ちにくいと考えられる場所が少なからず存在するようと思われたのである。これまで私が取り組んできた地形学のスケール感ではどうにも太刀打ちできそうにないのだ。こんなところに果たして「地形学」は可能か?全く思いもよらない疑問をアラスカは投げかけてきた。私にとって

るようだ。

岸野清孝(情報システム学科・教授)

- 執筆「製造業の復興と技術士への期待」『技術士: The Institution of Professional Engineers, Japan Journal』Vol.16 No.12 (12月号の巻頭言)。

澤口晋一(情報文化学科・助教授)

- 講演「新潟平野の生い立ち」ほがらか学級、新潟市関屋地区公民館、12月。

廣瀬貞三(情報文化学科・教授)

- 講演「日本の朝鮮支配と歴史認識」新潟県平和運動センター主催、新潟県勤労福祉会館、7月21日。
- 執筆「廣瀬教授『北』リポート」『新潟日報』8月24日。
- 講演「韓国の政治と経済」本学エクステンションセンター主催、新潟国際情報大学新潟中央キャンパス、9月4日。
- 講演「大韓民国見聞」新潟市中央公民館主催、同館、9月22日。
- 講演「新社会人に期待する」新潟日報社主催、ホテル新潟、10月1日。
- 講演「近くで遠い国『韓国』を知ろう!」新潟市中央公民館主催、同館、10月8日。
- 講演「映像で見る韓国社会」新潟県立生涯学習推進センター主催、十日町情報館、10月23日。
- シンポ「見たまんまの北朝鮮」北東アジアの平和を考える会主催、新潟国際情報大学新潟中央キャンパス、10月29日。
- 講演「日本軍慰安婦問題の今日的意味」消せない記憶実行委員会主催・情報文化学科スタッフ・セミナー共催、新潟国際情報大学新潟中央キャンパス、12月4日。

## 教員の活動(一般向け執筆・講演)

(04年下半期・本人申告による)(学術論文・図書と学会発表は次号に掲載)

青淵正幸(情報システム学科・助教授)

- 執筆「学会ルポ・日本経営分析学会第20回秋季大会」「企業会計」(中央経済社)第56巻第12号(57頁)、12月1日。
- 教科書「退職給付会計」菊谷正人・岡村勝義編著『財務会計の入門講義』中央経済社(2004年10月、全239頁)第9章所収、164-172頁。
- 教科書「キャッシュ・フロー会計」(共著)前掲書第11章所収、178-186頁。

區建英(情報文化学科・教授)

- 講演「権威主義の中日友好から、民主主義の中日友好へ」北京師範大学、11月17日。
- 講演「市民の連帯による中日友好」北京大学、11月18日。

越智敏夫(情報文化学科・助教授)

- 執筆「職業としての政治学者: 追悼・高畠通敏」『図書新聞』2687号、7月24日。
- 執筆「市民不在の知事選候補者選定」『新潟日報』8月28日朝刊。
- 執筆「世界の崩壊と文化の国家独占」『地域文化学会会報』12号(10月号)。
- 執筆「『周辺』の人々へ焦点: 『映画の中の市民社会』公開講座に寄せて」『新潟日報』10月18日。
- シンポ「9・11とアメリカにおけるバック・ラッシュについて」新潟ジェンダー・ネットワーク研究シンポジウム、新潟市万代市民会館、9月17日。
- 講演「市民社会の周辺: 映画『HARUKO』について」公開講座「映画の中の市民社会」新潟市万代市民会館、10月27日。

# 卒業生の便り

私は中国語を選択し3年生の時には夢だった中国への短期留学を経験し、将来は中国とかかわる仕事をしたい、と考えていました。そして卒業後「中国東方航空」というまさに理想の会社に入社することができました。

中国東方航空は、新潟から上海と西安を結んでいます。お客様の大半は日本人ですが、留学や研修、その家族などの中国人もいます。中国人といつても日本語が上手な方が多いです。しかし全く日本語のできない方もいるので、そんなときに中国語を使っています。また英語の方もいて、入社したての時は空港での手続きの案内や航空券についての説明を外国語で説明するところが難しく、戦慄苦闘の毎日でした。常に毎日が勉強という感じです。

## 中国東方航空

情報文化学科 2002年度卒業 小林 妙子



## 私のできる日中友好

券の発券です。私は支店業務で、旅行代理店が販売するツアーのための座席の予約や調整、来店したお客様の予約発券、また運行時刻・中国情報等の案内業務です。

諸問題で日中関係はたびたび報道で取り上げられていますが、大きな問題だけを考えず多くの人々に興味を持つてもらいたい、良い所を見つけてほしいです。そのためにテレビやラジオでメディアを通じての広報活動も行っています。また新潟には日本でビジネスをしている企業が多くあるので、中国語を勉強して興味を持った学生にはぜひチャレンジしてもらいたいです。



## 極東大学副学長が本学來訪

本学提携校の一つである、ウラジオストック極東大学より、ディカレフ副学長が、12月に本学を訪問され、武藤学長と懇談の機会をもたらしました。ディカレフ副学長は極東大学の国際交流を担当されており、その経験をいかして、22日には文化学科スタッフ・セミナーで「大学の国際交流・ウラジオストック極東大学の経験」と題する講演をなされました。



## 北京大と北京師範大で講演 情報文化学科・教授 區 建英

近年日中関係に不協和音が生じ、04年アジアカップでの中国民衆の「反日」的反応にまで発展してきた。「つくる会」の歴史教科書や靖国参拝に対する怒りが日本人一般に向かってきたのである。この膠着状態をどのように打開し、両国の友好協力を守っていくのか。

中国の若き大学生に考えさせるため、北京大では日本論講座を設け、国内外の研究者を招き講義を行い、北京師範大も同じ趣旨で特別講座を設置した。そうした中日友好のための講座に招かれ、11月17日に北京師範大で、翌18日には北京大で、それぞれ特別講演を行った。



## 紅翔祭を終えて… まさに「一喜一憂・笑」

紅翔祭実行委員長 野澤 正

10月23~24日に行われた第11回紅翔祭『一喜一憂～笑～』は皆様のご協力により、無事に終えることができました。

2日目には震度7を超える中越地震の被害を受け、櫻井よしこ氏の講演会を断念させられました。列車の運休や被災地に実家をもつ学生たちの事など不安は尽きなかったのですが、終わってみれば地震の義援金も集まり、今は中止せざるを得ないと思われます。

昨年の新潟は7・13水害に中越地震と災害に見舞われる年となってしまいましたが、そんな中だからこそ皆さまに笑顔を提供することができました。ここから我々が学んだ事を後輩にも伝え、さらなる飛躍を目指し学友会は日々精進していくつもりです。

## 平成17年度 一般入試日程

◎詳細は募集要項をご確認下さい。

入試区分	募集人員	出願期限	試験日	試験科目
前 期	情報文化学科 35	17.1.6(木)~1.21(金)	17.2.2(水)	・国語：国語Ⅰ・国語Ⅱ(いすれも古文・漢文を除く) ・数学：数学Ⅰ・数学Ⅱ(数学Ⅱは、微分・積分を除く) ・外国語：英語Ⅰ・英語Ⅱ
	情報システム学科 60			上記3教科の中から2教科を試験会場で選択
後 期	情報文化学科 10	17.2.17(木)~3.2(水)	17.3.8(火)	上記3教科の中から2教科を試験会場で選択
	情報システム学科 15			上記3教科の中から2教科を試験会場で選択
大学入試センター試験利用	情報文化学科 15 情報システム学科 20	17.2.1(火)~2.15(火)	――――――	学科試験を課さず、16年度のセンター試験の成績で判定。全教科の中から2教科2科目選択 配点：各教科100点。3科目以上受験した場合は得点の2教科2科目を合算判定に使用

■お問い合わせ／新潟国際情報大学学務課教務係 T950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 電話(025)239-3111 FAX(025)239-3690

新潟国際情報大学  
学費特別給付奨学金

一般入試(前期)  
の成績により奨学金が  
給付されます。

情報文化学科	3番以内—I種	8番以内—IⅡ種	I種 授業料全額(年額650,000円)
情報システム学科	5番以内—I種	14番以内—IⅡ種	II種 授業料半額(年額325,000円)

## 学事日程

1月11日	授業開始
15~16日	センター試験
21日	後期授業終了
24~28日	後期定期試験
2月 2日	前期入試
7~10日	集中講義
3月 8日	後期入試
15日~	春休み
23日	卒業式
	新潟市民芸術文化会館 開場12時・開式13時
31日	学年終了
4月 5日	平成17年度入学式

中越地震に被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。前号で7・13水害のお見舞いを書きましたが、自然はなんと残酷なものなのでしょう。人類は古代エジプトの占星術から始まって今日にいたるまで、自然の摂理の理解は進んだのですが地震予知に関しては全く無力です。地震が起きた後の気象庁地震予報課長の報告は、太平洋プレートと日本海プレートのせめぎ合いが中越地方で発生したために起きたというのですが、そのような報告は何の役にも立ちません。地震の前に、太平洋プレートと日本海プレートのストレスがたまっているので、地震が起きる可能性があるなどとは全く言つてはおりませんでした。次は東海地方ではいるのですが、東北地方で震度6弱の地震があるとはずっと以前から言つてはいるのです。この腹立ちは地震に被災していない新潟市の私が思つてることですが、被災された方々はもつと切実に正確な地震予報があつたらよかったですと思われます。一日も早い復興の日が訪れますようお祈り致します。

湧 YUUGEN 源

編集後記に代え

広報委員長 永井 武